土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一級河川　太田川水系　寺山川外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.3	調査位置	測線No.9、L-9.3m	北緯	34° 26' 23.2233"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 1月 8日～ 令和3年 1月14日	東経	132° 32' 33.1578"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 227.50m	角度	180°（上）、90°、0°（下）、0°	方向	北 0°、90°（東）、180°（南）、270°（西）
総削孔長	13.00m	地盤勾配	18°（水平 0°）、90°（鉛直）	使用機種	試錐機：東邦D1C / エンジン：ヤンマーTF120M / ポンプ：東洋BP1

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
				粘土質砂		暗褐			GL-0.6mまで木根を混入する	
						褐	rd2		細～中砂の砂を主体とする	
							rd3		粗砂状の小礫を混入する	
							rd2		細粒土分を20～40%含有する	
	223.00	4.50							部分的に砂質粘土状を呈す	
				玉石混じり粘土質砂		灰褐	rd3		L=10～15cmの玉石が混在する 砂は中～粗砂を主体とする 細粒土分を10～20%含有する 径3cm以下の礫を少量混入する GL-4.60～5.20m間は玉石 GL-5.35m、7.15mの標準貫入試験は玉石に当る	
	220.10	7.40								
	219.50	8.00		粘土質砂		褐	rd3		砂は中～粗砂を主体とする 径3cm以下の礫を少量混入する	
				花崗岩		淡褐			DL級岩盤 風化が著しく進行し撹乱すると土砂化する 造岩鉱物は風化変質、変色している 長石類は白濁化し指圧で細粒化する	
	216.50	11.00								
	215.60	11.90		花崗岩		淡褐			DM級岩盤 風化が進行し撹乱すると土砂化する 造岩鉱物は風化変色している	1/14 12.10
	215.25	12.25		花崗岩		淡灰褐			DH級岩盤 径3cm以下の岩片～短柱状コアで採取するが指圧で崩れる	
	214.50	13.00		花崗岩		淡灰			CH級岩盤 柱状コア主体で採取される 亀裂面は暗褐色に変色している	

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	1.15	1	2	3	6/300		
	1.45						
12	2.15	3	4	5	12/300		
	2.45						
9	3.15	4	2	3	9/300		
	3.45						
10	4.15	2	2	6	10/300		
	4.45						
50以上	5.35	50			50	50	
	5.40	50			50		
20	6.15	5	7	8	20/300		
	6.45						
50以上	7.15	50			50	20	
	7.55	20			20		
21	7.85	8	7	8	21/300		
24	8.15	6	8	10	24/300		
	8.45						
35	9.15	10	13	12	35/300		
	9.45						
26	10.15	7	8	11	26/300		
	10.45						
50以上	11.15	35	15		50	150	
	11.30		50		150		
50以上	12.10	50			50	30	
	12.13	30			30		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				1/8
				1/9
				1/12
				1/13
				1/14